

市長から市民の皆さまへ 市長メッセージ

夏本番となり、ひまわりが元気に咲く季節となりました。

さて、新型コロナウイルス感染症については、現在、第7波の感染拡大の局面となっています。一方で、重症者数は一定抑制されており、今後も引き続き感染予防をしっかり行い、日常生活を継続することが必要な段階です。夏休み期間中で、人の往来が増える時期ですので、市民の皆様におかれては、ワクチン接種を始め、引き続きの感染予防対策をお願い申し上げます。

なお、特に熱中症対策の観点から、マスクの着脱については、ご自身の体調や周囲の状況に応じて取り組んで頂ければと存じます。

本年8月15日で、先の大戦の終戦から丸77年を迎えます。戦争の記憶と悲しさを決して風化させることなく、次世代に、戦争の惨禍を二度と繰り返してはならないこと、そして、平和の尊さを継承することが、我々の責務と考えております。

本年も、守山市遺族会の皆様と共に、①戦争体験者の遺品や手紙、写真や資料などを展示する「平和のよここび展」(8月3日～10日、詳細は7月15日号)、②広島原爆投下時刻に、黙とうを捧げ、平和を祈る「平和を誓うつどい」(8月6日、詳細は本号12頁)の『平和事業』を実施してまいります。

現在、ウクライナでは、ロシアによる軍事侵攻により、これまでに数多くの尊い命と個人の尊厳が奪われており、日々胸を痛めるばかりです。これは、国際秩序の根幹を揺るがすものであり、断じて容認できるものではなく、一日

も早い侵攻の収束とウクライナに平和な日に戻ることを願うばかりです。

この状況を踏まえ、今年は、8月3日にウクライナからの留学生オレクシユーク・ロクソラーナさんをお招きし、「平和を願う特別講演会&映画会」を開催します(詳細は7月15日号)。

市民の皆様におかれましては、是非とも、これらの事業にご参加頂き、改めて戦争の悲惨さや平和の尊さについて考え、ご家族で語り合ってもらえればと存じます。

さて、市民の皆様は、『青少年赤十字』の発祥の地が守山市であることをご存じでしょうか?100年前の1922年に、「野洲郡守山尋常高等小学校(現在の守山小学校)」において少年赤十字団が発足し、これが日本の『青少年赤十字』の発祥とされています。先月7月29日には、『青少年赤十字』発足100周年を祝う記念式典が市民ホールで開催され、全国から多数の方々から本市を訪れて頂いたところ。『青少年赤十字』の態度目標は、「気づき、考え、実行する」です。

コロナ禍で社会に歪みが生じつつある現在、また、地域の絆の希薄化が懸念される時代において、この精神は、まちづくりや地域づくり、そして、お互いの助け合い(互助)の基本だと考えます。

100周年を迎えた本年を機に、守山市が『青少年赤十字』発祥の地であることを誇りに、小中学校での「気づき、考え、実行する」に基づく活動の推進はもちろんのこと、市民の皆様と共に、改めて、「気づき、考え、実行する」を大切に、互助のまちづくりや地域づくり等を実践してまいりたいと考えております。

守山市長 宮本和宏

住宅用蓄電池・太陽光発電の設置を補助

環境政策課 ☎(584)4691 FAX(584)4818

再生可能エネルギーの積極的な活用を通じた温室効果ガスの削減、脱炭素社会、自立分散型エネルギー社会の推進を目的に、蓄電池や太陽光発電を住宅に導入するための費用の一部を助成します。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

以下のいずれかに該当する人

- ①太陽光発電システムが既に設置されている既築住宅に「蓄電池」を導入する人
- ②新築住宅に太陽光発電システムと併せて「蓄電池」を導入する人
- ③既築住宅に蓄電池またはV2H充放電設備と併せて「太陽光発電システム」を導入する人



ホームページ

対象	助成額	上限額
①②の人	蓄電池商品設置費・工事費の4分の1	26万円
③の人	太陽電池モジュールの最大出力に1kw当たり2万円	8万円

※①と③の同時申請も可能です。

補助金額など

令和5年2月28日(火)までに必要書類を上記へ提出してください。なお、予算上限に達した場合、受付終了する場合があります。

